

2023年3月期 通期決算説明資料

決算発表 : 2023年5月10日

決算説明会 : 2023年5月11日

日本ライフライン株式会社

東証プライム市場 : 7575

Unauthorized copying prohibited.
Copyright © 2023 Japan Lifeline Co., Ltd. All rights reserved.



...for patient comfort.

01. 2023年3月期 通期決算報告

02. 2024年3月期 業績予想

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

01. 2023年3月期 通期決算報告

02. 2024年3月期 業績予想

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

通期実績 損益ハイライト	売上高		営業利益		当期純利益	
	金額	YoY	金額	YoY	金額	YoY
	51,750 百万円	+281 (+0.5%)	10,837 百万円	+863 (+8.7%)	6,891 百万円	▲592 (▲7.9%)
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保険償還価格の下落*1や新型コロナ感染拡大の影響を販売数量の増加で吸収し増収 ✓ 前期に一時的なコスト増加要因があったことで営業増益（過去最高益） ✓ 3Qに投資有価証券評価損（特別損失）を計上したため、当期純利益は減益 					

品目別売上高 ハイライト	リズムデバイス YoY ▲4.4%		EP/アブレーション YoY +4.8%			
	↓	(-) 保険償還価格の下落		↑	(+) AF症例数の増加 (+6%)	
		(-) 市場競争の激化			(-) HeartLight X3の供給不足	
	外科関連 YoY +10.2%		消化器/PI*2 YoY ▲35.4%			
↑	(+) 人工血管関連が好調		↓	(-) Orsiro*3の大幅減		
	(+) 塞栓用コイルの寄与					

* 金額百万円未満は切捨（以降のスライドも同様）

*1 2022/4に保険償還価格が改定

*2 前期までインターベンションと表記していましたが、当期より消化器/PIと改称しております

*3 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro(オシロ)」 2022/6に独占販売契約を終了し、以降は在庫販売のみを行っています

✓ 前期比で増収、営業増益。当期純利益は減益

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	通期実績	YoY	%	通期実績
売上高	51,750	+281	+0.5	51,469
売上総利益	29,895	+1,060	+3.7	28,835
構成比	57.8%			56.0%
販管費	19,057	+196	+1.0	18,861
構成比	36.8%			36.6%
営業利益	10,837	+863	+8.7	9,973
構成比	20.9%			19.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,891	▲592	▲7.9	7,484
構成比	13.3%			14.5%
自社製品比率	54.9%			52.4%

売上高 YoY +0.5% 増収

- (+) AF症例数の増加 (+6%)
- (-) 保険償還価格の下落
- (-) 新型コロナ感染拡大 (2Q~3Q)

営業利益 YoY +8.7% 増益

- (+) 自社製品比率の改善 (+2.5pt)
- (+) 在庫の廃棄損・評価損の減少 (▲1,413M)
- (-) 保険償還価格の下落に伴う粗利率の悪化

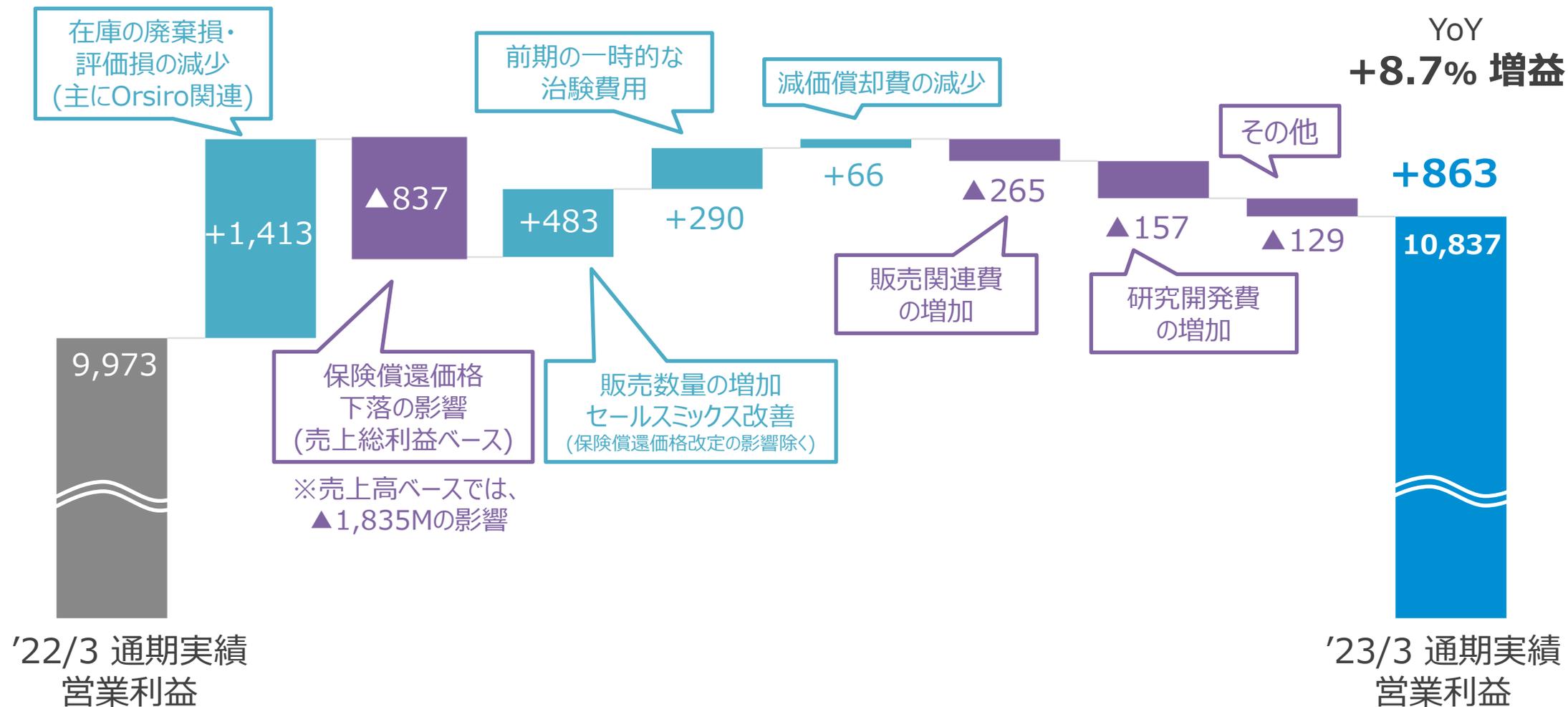
当期純利益 YoY ▲7.9% 減益

- (-) 前期に事業譲渡益 (116M)、子会社の組織再編に伴う繰延税金資産 (223M) を計上
- (-) 当期、投資先の事業計画見直しに伴う増資により保有株式の減損(特別損失) を計上 (1,190M)
- (+) 当期に子会社の譲渡および清算に係る子会社整理益を計上 (96M)

2023/3期 連結営業利益 増減分析（通期）

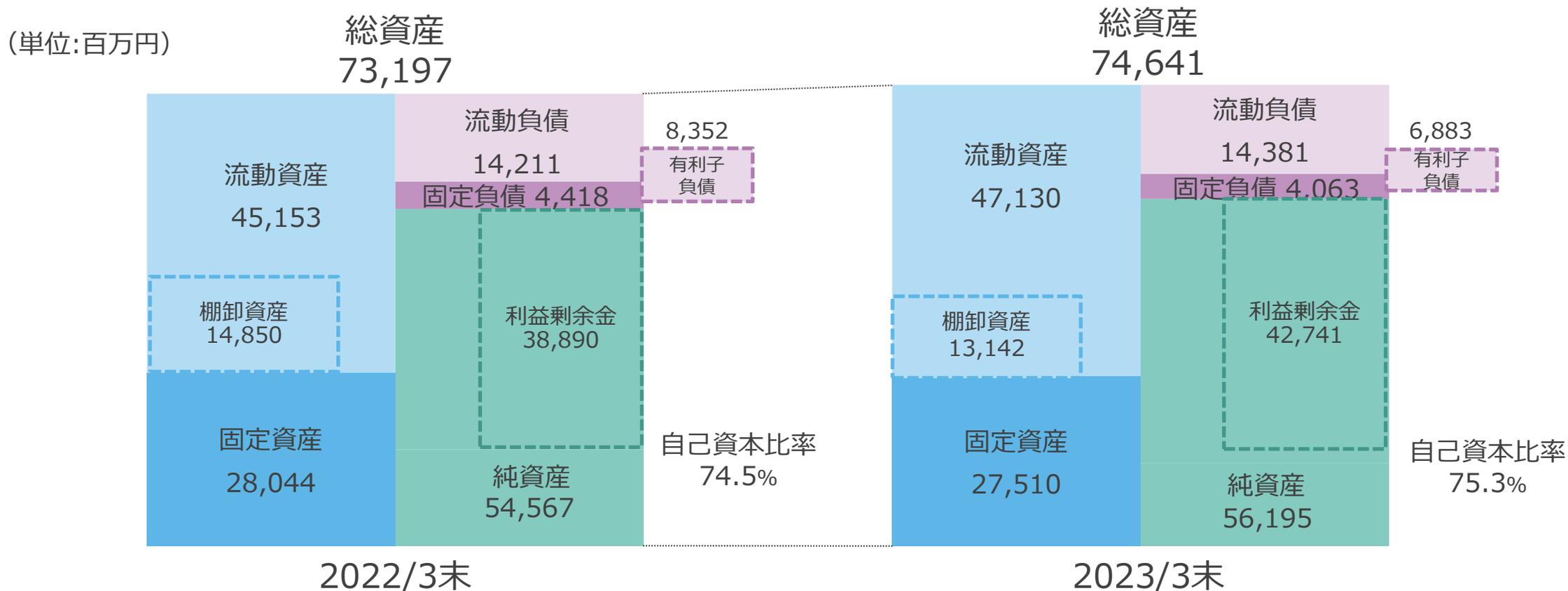
- ✓ 保険償還価格の下落や販管費の増加等のマイナス要因があったが、前期に一時的なコスト増加要因があったことや当期の販売数量の増加により**営業増益**

(単位:百万円)



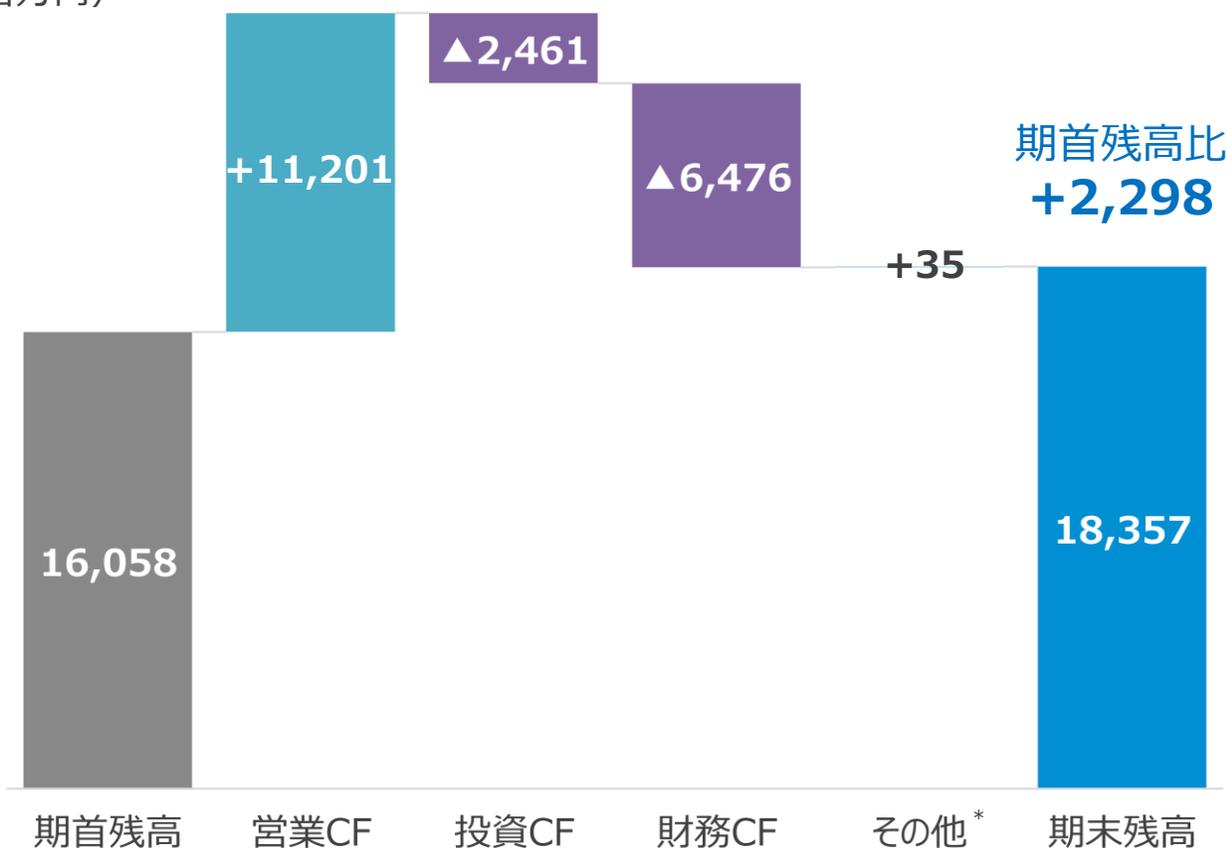
2023/3期 連結貸借対照表 (通期)

- ✓ 流動資産： 潤沢な営業CFより、設備投資・配当金の支払・自己株式の取得資金等を手元資金で賄ったうえで、現金及び預金が増加
棚卸資産はOrsiroやRF Needle等の契約終了により在庫が減少
- ✓ 固定資産： 投資有価証券評価損 (特別損失) 等により減少
- ✓ 純資産： (-)自己株式の取得や(+)利益剰余金の増加等あり



✓ 現金及び現金同等物は、期首残高から2,298百万円増加

(単位:百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額

■ 営業CF

【増加】

税金等調整前四半期純利益	+9,789
棚卸資産の減少額	+1,720
減価償却費	+1,566
投資有価証券評価損 (特別損失)	+1,190

【減少】

法人税等の支払額	▲2,861
未収入金の増加額	▲892
売上債権の増加額	▲779

■ 投資CF

【減少】

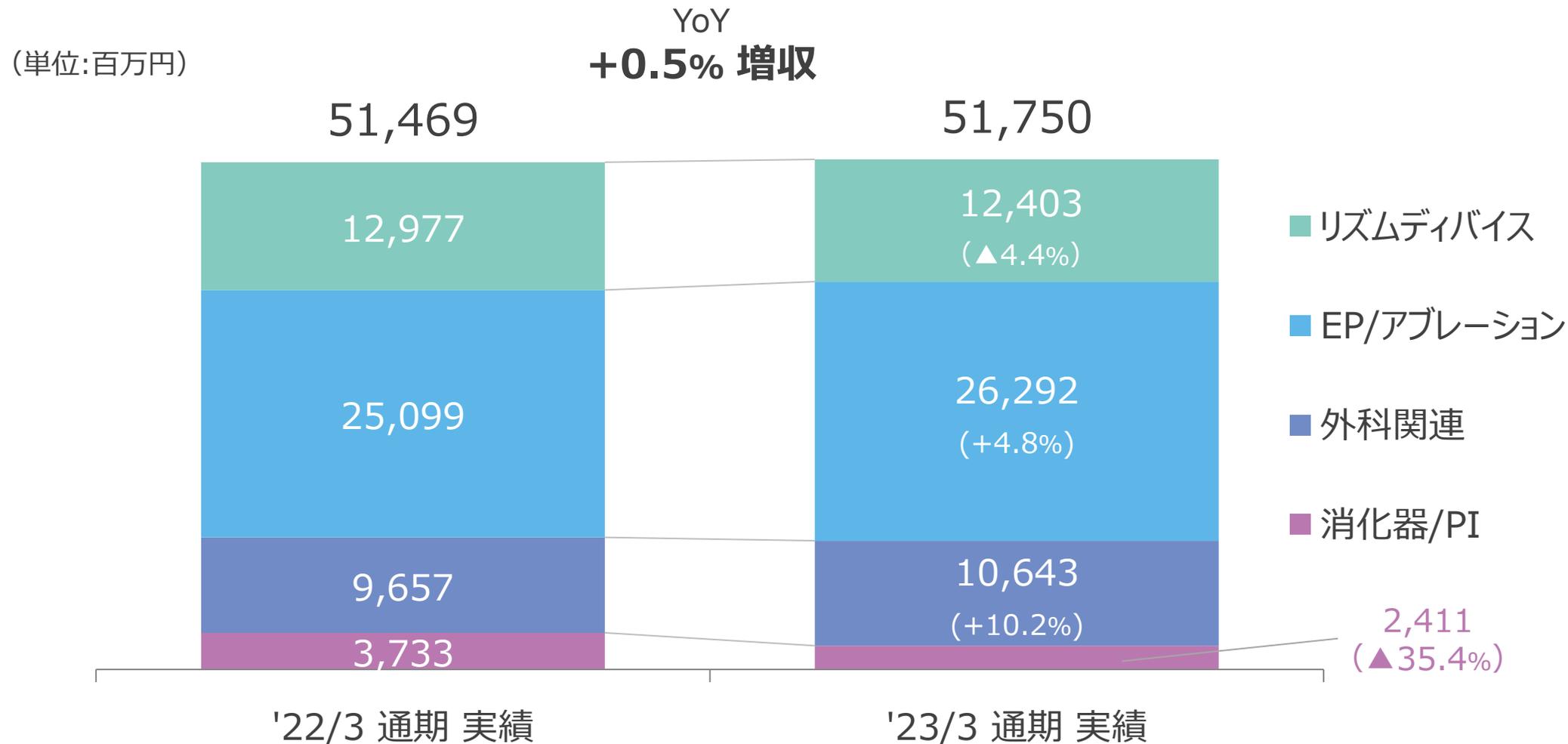
無形固定資産の取得による支出	▲1,264
長期貸付による支出	▲530
有形固定資産の取得による支出	▲465
投資有価証券の取得による支出	▲420

■ 財務CF

【減少】

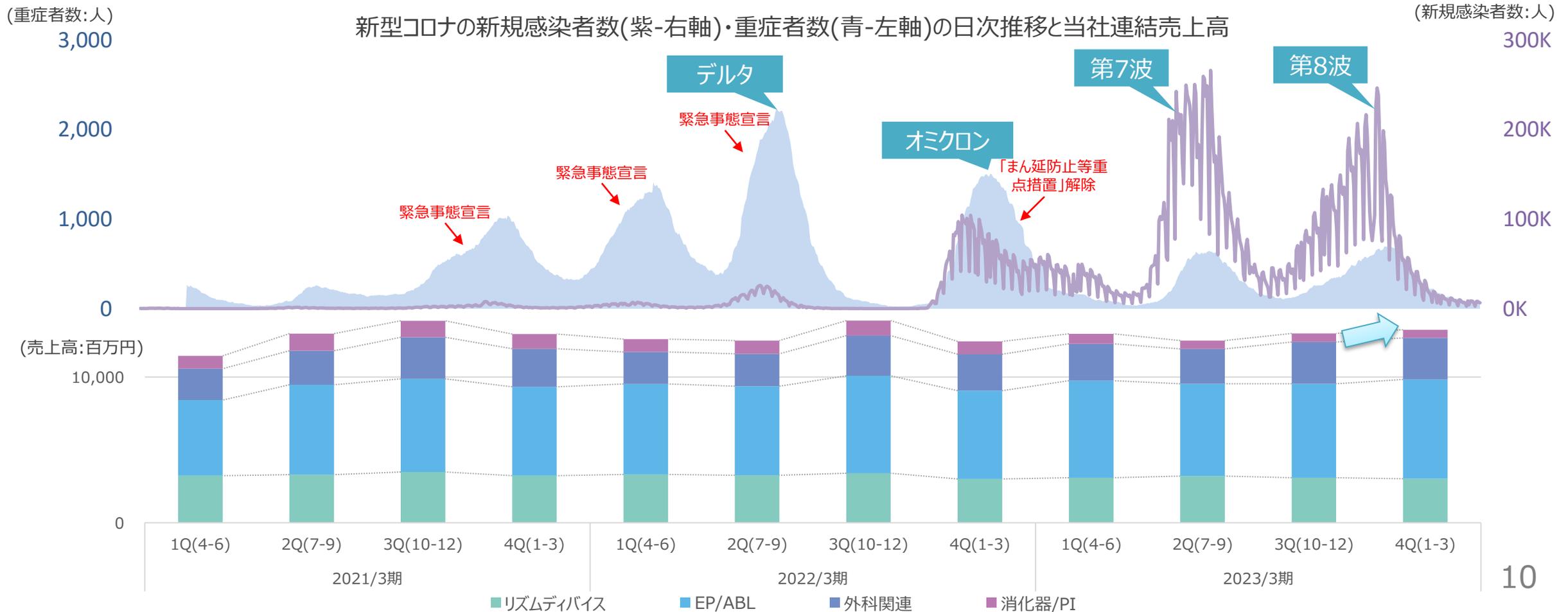
配当金の支払額	▲3,050
自己株式の取得による支出	▲1,948
長期借入金の返済による支出	▲1,076

- ✓ 保険償還価格の下落の影響を受ける
- ✓ EP/アブレーションや外科関連の症例数の増加等を背景に増収



2023/3期 コロナ禍における売上高の推移

- ✓ 1Q：オミクロン型の感染が一服し、行動制限緩和。症例数の大幅増とともに売上増加
- ✓ 2Q：BA5型の感染が急拡大し、7月下旬～8月にかけて症例数が大幅減。9月には沈静化
- ✓ 3Q：10月以降、感染再拡大。ただし、コロナが症例数を抑制する傾向には一定の歯止め
- ✓ 4Q：感染は1月中旬にピークアウト。前期4Qはオミクロン拡大期で、前年同期比では大幅な増収



ペースメーカーの保険償還価下落や競争激化の影響が厳しく減収

- ① 保険償還価格の下落や他社の新製品等の影響を受け大幅な減収
- ② T-ICDは電池交換に伴う交換症例を多く獲得。S-ICDやCRT-Dは堅調に推移し増収
- ③ AEDは販売・レンタルともに堅調に推移

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	通期実績	YoY	%	通期実績
① ペースメーカー関連	4,938	▲923	▲15.8	5,862
② ICD関連	7,090	+305	+4.5	6,785
③ その他*	374	+44	+13.5	329
リズムデバイス 計	12,403	▲574	▲4.4	12,977

	2023/3期			2022/3期
	1-3月実績	YoY	%	1-3月実績
① ペースメーカー関連	1,189	▲86	▲6.7	1,275
② ICD関連	1,725	+74	+4.5	1,651
③ その他*	106	+29	+37.8	77
リズムデバイス 計	3,022	+18	+0.6	3,004

* AED、舌下神経電気刺激装置等を含む

AF症例数の増加や他社製品の供給問題等により販売は堅調に推移

- ① AF症例数は通期で**前期比6%程度増加**、1-3月では**前年同期比10%程度増加**と推定
新型コロナの影響軽減に加え他社製品の供給問題等もあり販売数量が大きく伸長
- ② HeartLight X3は、商品供給問題が断続的に発生し販売制限が継続
- ③ スティールラブルシース、RF Needleは堅調に推移

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	通期実績	YoY	%	通期実績
① EPカテーテル	19,654	+1,242	+6.8	18,412
② ABLカテーテル	1,011	▲220	▲17.9	1,232
③ その他*	5,626	+171	+3.1	5,455
EP/アブレーション 計	26,292	+1,193	+4.8	25,099

2023/3期			2022/3期
1-3月実績	YoY	%	1-3月実績
5,043	+520	+11.5	4,522
242	▲57	▲19.1	299
1,532	+284	+22.8	1,247
6,818	+748	+12.3	6,070

* スティールラブルシース、RF Needle等を含む



人工血管や塞栓用コイルが大きく伸長

- ① 人工血管は堅調に推移、オープンステントグラフトは緊急症例の増加に伴い増収
腹部用ステントグラフトはAFX2と相乗効果のある新商品Altoが伸長し大幅な増収
- ② 塞栓用コイルAvenirの販売が好調に推移し、前期に事業譲渡した血液浄化関連の売上 (253M) があるも増収

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	通期実績	YoY	%	通期実績
① 人工血管関連	10,353	+982	+10.5	9,370
② その他*	289	+2	+1.0	286
外科関連 計	10,643	+985	+10.2	9,657

2023/3期			2022/3期
1-3月実績	YoY	%	1-3月実績
2,744	+268	+10.9	2,475
115	+94	+443.5	21
2,860	+362	+14.5	2,497

* 塞栓用コイル、血液浄化関連、人工肺関連、生体弁等を含む



PI領域から消化器領域への事業構造の転換が進む

- ① 消化器関連は、肝臓治療用ラジオ波焼灼電極針等の既存製品の販売が好調に推移し大幅な増収
胆膵領域では胆管用チューブステントの臨床評価が高く好調に推移
- ② PI関連は、Orsiro等の販売縮小と販売リソースの消化器関連への転換により大幅な減収

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	通期実績	YoY	%	通期実績
① 消化器関連	645	+197	+44.2	448
② PI関連*	1,765	▲1,520	▲46.3	3,285
消化器/PI 計	2,411	▲1,322	▲35.4	3,733

2023/3期			2022/3期
1-3月実績	YoY	%	1-3月実績
191	+54	+40.3	136
359	▲391	▲52.2	750
550	▲336	▲37.9	887

* Percutaneous Intervention (経皮的インターベンション)に関する医療機器を取り扱う領域
薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」のほか、血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤー、ガイドワイヤー、バルーンカテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具等を含む

01. 2023年3月期 通期決算報告

02. 2024年3月期 業績予想

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

2024/3期 連結業績予想（通期）

通期 損益予想	売上高		営業利益		当期純利益	
		YoY		YoY		YoY
	48,807 百万円	▲2,943 (▲5.7%)	9,763 百万円	▲1,073 (▲9.9%)	6,854 百万円	▲37 (▲0.5%)
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Baylis社製品の商流変更およびコロナリー・インターベンション（以下CI）事業の縮小の影響が大きく減収の見通し ✓ 人件費、IT関連費等の販管費の増加により営業減益を見込むが、営業利益率20%は維持 ✓ 当期純利益は前期並みを想定 					

品目別売上高 予想	リズムデバイス YoY +0.2%		EP/アブレーション YoY ▲10.9%	
	➡	(+) S-ICDやCRT-Dが堅調 (-) 市場競争の激化	➡	(+) AF症例数の増加 (+6%) (-) Baylis社製品の商流変更
	心血管関連*1 YoY +6.5%		消化器*2 YoY ▲39.6%	
	➡	(+) 人工血管関連が堅調 (+) 新商品の発売	➡	(+) 既存品の改良モデルの投入 (-) CI事業の縮小

* 2024/3期より売上集計区分の組替を行っております（組替詳細はP34）

*1 前期まで外科関連と表記しておりましたが、当期より心血管関連と改称しております

*2 前記まで消化器/PIと表記しておりましたが、当期より消化器と改称しております

2024/3期 連結業績予想（通期）

✓ 前期比で減収、営業減益の見通し。当期純利益は前期並みを想定

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	通期予想	YoY	%	通期実績
売上高	48,807	▲2,943	▲5.7	51,750
売上総利益	29,691	▲203	▲0.7	29,895
構成比	60.8%			57.8%
販管費	19,927	+870	+4.6	19,057
構成比	40.8%			36.8%
営業利益	9,763	▲1,073	▲9.9	10,837
構成比	20.0%			20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,854	▲37	▲0.5	6,891
構成比	14.0%			13.3%
自社製品比率	60.4%			54.9%

売上高 YoY ▲5.7% 減収

- (+) 新型コロナ沈静化に伴う症例数の回復
- (-) Baylis社製品の商流変更およびCI事業の縮小

営業利益 YoY ▲9.9% 減益

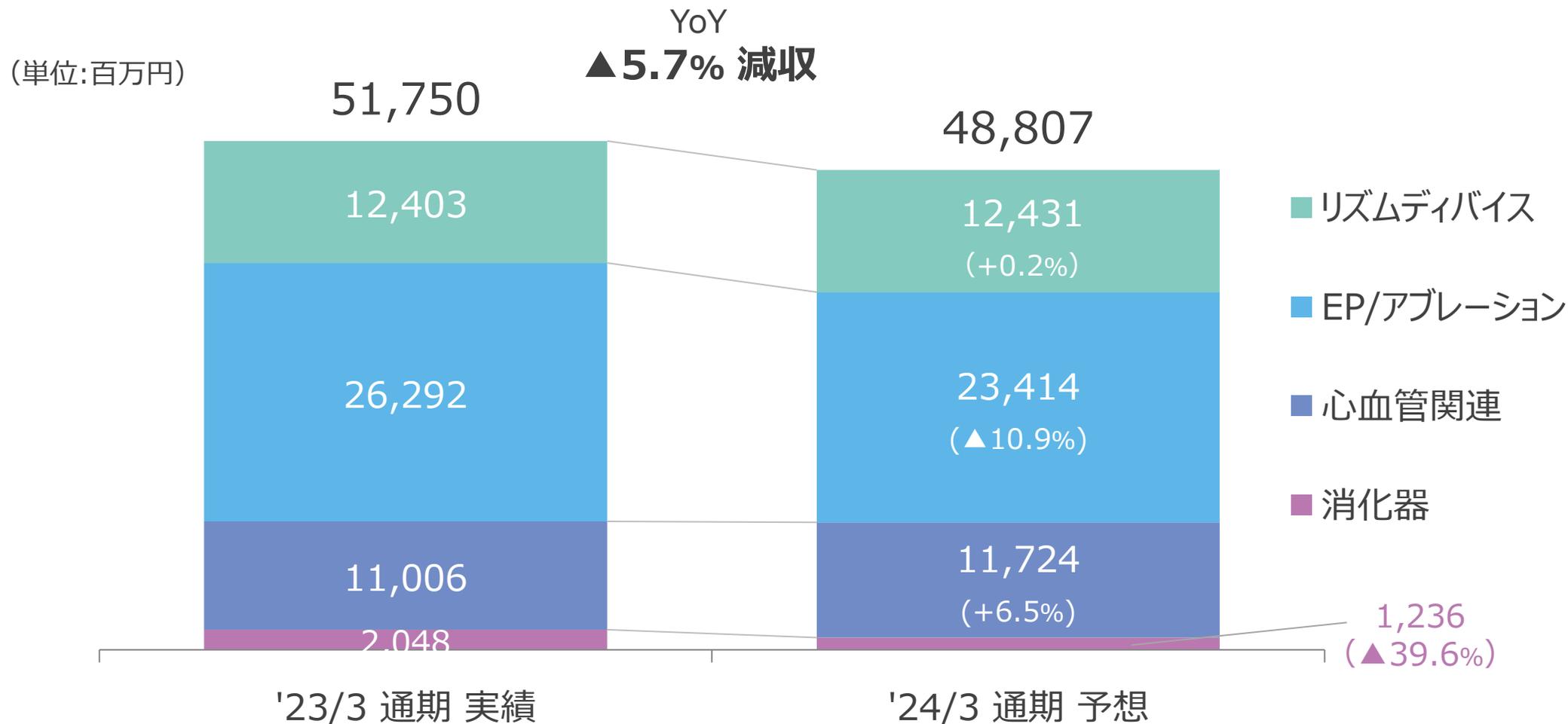
- (+) 自社製品比率の上昇 (+5.5pt)やBaylis社製品の商流変更に伴う売上総利益率の改善
- (+) 在庫の廃棄損・評価損の減少 (▲295M)
- (-) 人件費の増加 (ベースアップ等)
- (-) IT関連費、営業活動費の増加

当期純利益 YoY ▲0.5% 減益

- (+) 前期に投資有価証券評価損 (特別損失) を計上 (1,190M)

2024/3期 品目別売上高（通期）

- ✓ EP/アブレーションはBaylis社製品の商流変更、消化器はCI事業の縮小の影響が大きく減収の見通し
- ✓ 心血管関連は、脳血管関連での堅調な販売や新商品の発売により増収の見通し



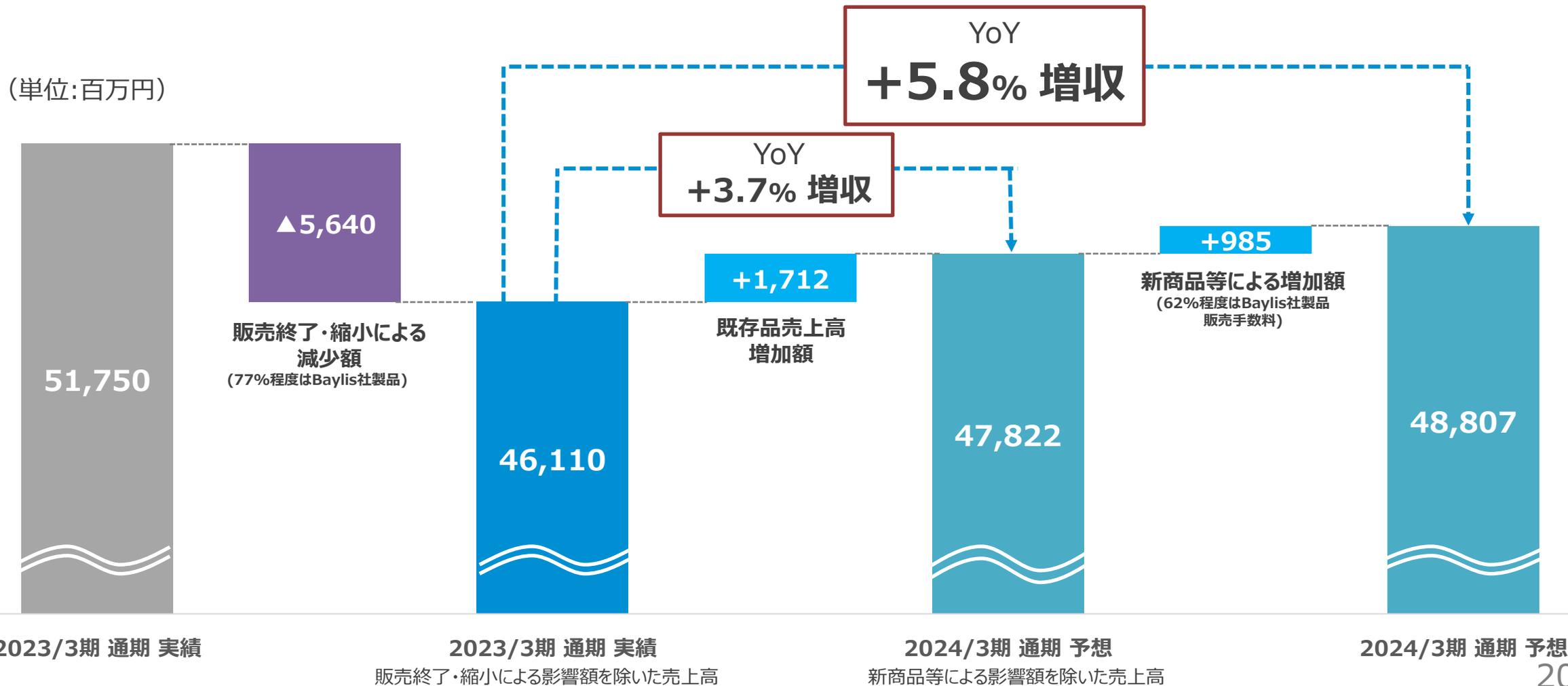
* 売上集計区分の組替を行っております (組替詳細はP34)

	区分	主な製品・事業	状況
終了	リズムデバイス	舌下神経電気刺激装置 「Inspire UAS」	独占販売契約の終了 ('23/3)
	CI関連	CI関連製品 「Orsiro」、「Optowire」等	事業の縮小
	EP/アブレーション	Baylis社製品 「RF Needle」、「SUREFLEX」等	独占販売契約の終了 ('23/3)
変更	EP/アブレーション	Baylis社製品 販売手数料	販売パートナーシップ契約* ('23/4)
新規	人工血管関連	オープンステントグラフト 「FROZENIX 4 Branched」 「FROZENIX Partial ET」	4 Branched ('23/1 発売済) Partial ET ('24/3期 1H 発売予定)
	脳血管関連	血栓吸引カテーテル「ESPERANCE」 マイクロカテーテル「pNOVUS」	ESPERANCE ('23/5 発売) pNOVUS ('24/3期 1H 発売予定)

* Boston Scientific Japanと締結 (2025年12月末まで)。協業施設におけるBaylis社製品の販売実績に応じて当社が販売手数料を受領

2024/3期 売上高の増減と実質的成長率

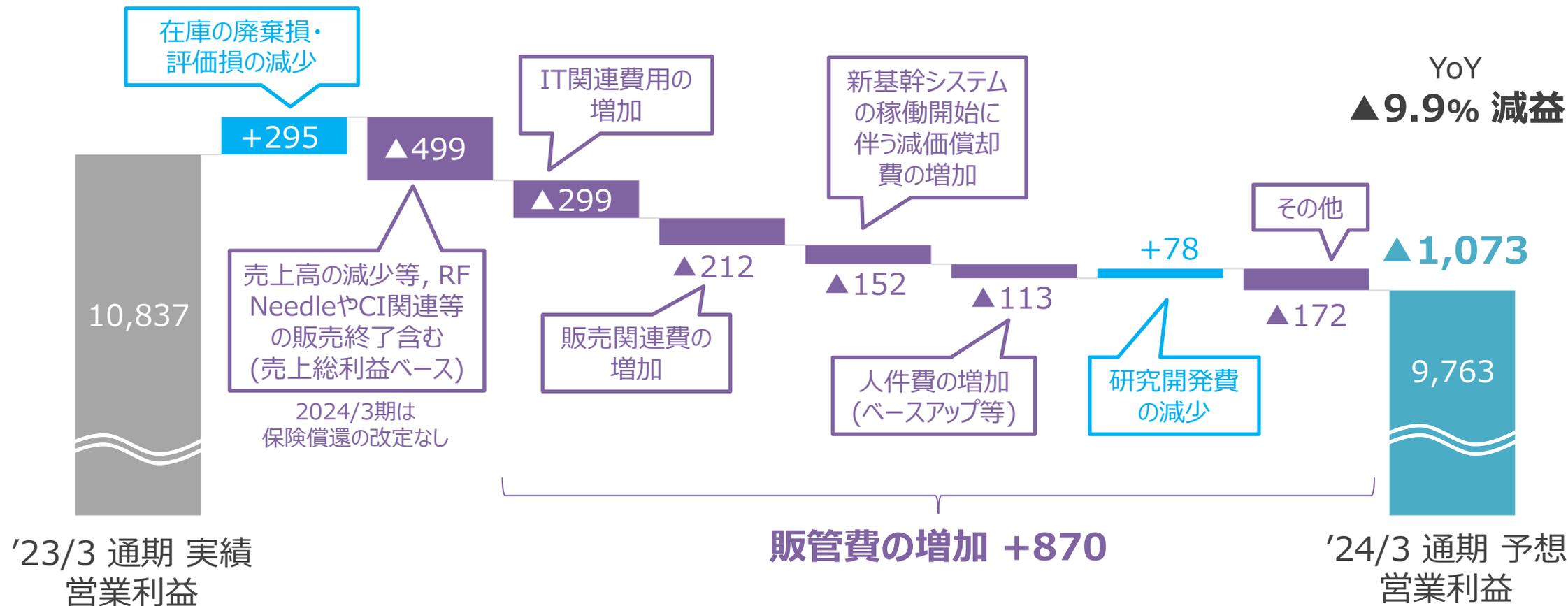
- ✓ 販売終了・縮小を除いた売上高ベースで前期比**3.7%増収**、新商品等を含めた売上高ベースで**5.8%増収**の見通し
- ✓ 2024/3期を底とし、2025/3期以降は着実な売上成長を見込む



2024/3期 連結営業利益 増減分析 (通期)

✓ 販売終了品の大幅な減収に加え、販管費の増加により**営業減益**を見込む

(単位:百万円)



他社との競争激化のなか、シェアの維持を目指す

- ① ペースメーカー関連は、他社の新製品等の影響があり横ばいの見込み
- ② T-ICDは交換症例のピークが過ぎ減収となるも、S-ICDやCRT-Dは堅調に推移する見通し

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	通期予想	YoY	%	通期実績
① ペースメーカー関連	5,011	+32	+0.6	4,979
② ICD関連	7,057	+7	+0.1	7,049
③ その他*1	361	▲12	▲3.2	374
リズムデバイス 計	12,431	+27	+0.2	12,403

* 売上集計分の組替を行っております (組替詳細はP34)

*1 AED、舌下神経電気刺激装置等を含む

Baylis社製品の商流変更により大幅な減収を見込む

- ① AF症例数は**前期比6%程度増加**の見込み
EPカテーテルは堅調な推移を予想、BeeATはラインナップを拡充し更なる拡販を目指す
- ② HeartLight X3は、商品供給問題が継続、販売への一定の影響が残る見通し
- ③ Baylis社製品は2023年3月末に独占販売を終了。4月以降は、BSJ社*¹との販売パートナーシップ契約のもと、商流変更に伴い販売手数料を受領する想定も大幅な減収となる見通し

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	通期予想	YoY	%	通期実績
① EPカテーテル	20,493	+838	+4.3	19,654
② ABLカテーテル	976	▲34	▲3.4	1,011
③ その他* ²	1,944	▲3,682	▲65.4	5,626
EP/アブレーション 計	23,414	▲2,878	▲10.9	26,292

*1 Boston Scientific Japan

*2 スティールラブルシース、Baylis社製品等を含む

人工血管関連は堅調、脳血管関連は新商品を導入予定

- ① 腹部用ステントグラフトは引き続き安定的な成長を見込む
オープンステントグラフトはラインナップを増やし、医師のニーズに応える
- ② 塞栓用コイルは、取扱施設の拡大、ラインナップ拡充により販売数量を伸ばす見通し
血栓吸引カテーテル等、脳梗塞治療領域における重要な新商品を複数投入予定

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	通期予想	YoY	%	通期実績
① 人工血管関連	10,681	+328	+3.2	10,353
② 脳血管関連	622	+392	+170.6	230
③ その他*	421	▲1	▲0.4	423
心血管関連 計	11,724	+718	+6.5	11,006

* 売上集計区分の組替を行っております (組替詳細はP34)

* 心房中隔欠損閉鎖器具、人工肺関連、生体弁等を含む



消化器関連の拡充と胆膵関連の拡販へ

- ① 消化器関連は、大腸用ステント、胃・十二指腸用ステントにおいて改良モデルを投入し販売を促進
胆膵関連は、胆管用チューブステントを中心にシェアの拡大に努める
- ② CI関連の一部製品の販売が残るが、事業縮小へ

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	通期予想	YoY	%	通期実績
① 消化器関連	1,125	+471	+72.1	654
② その他*	111	▲1,282	▲92.0	1,394
消化器 計	1,236	▲811	▲39.6	2,048

* 売上集計区分の組替を行っております (組替詳細はP34)

* 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」のほか、ガイドワイヤー、バルーンカテーテル、血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤー等を含む

- ✓ 設備投資額 : 2024/3期 新基幹システムの運用開始等
- ✓ 減価償却費 : 2024/3期 償却方法の変更「定率法→定額法」(-)、基幹システムの償却等(+)

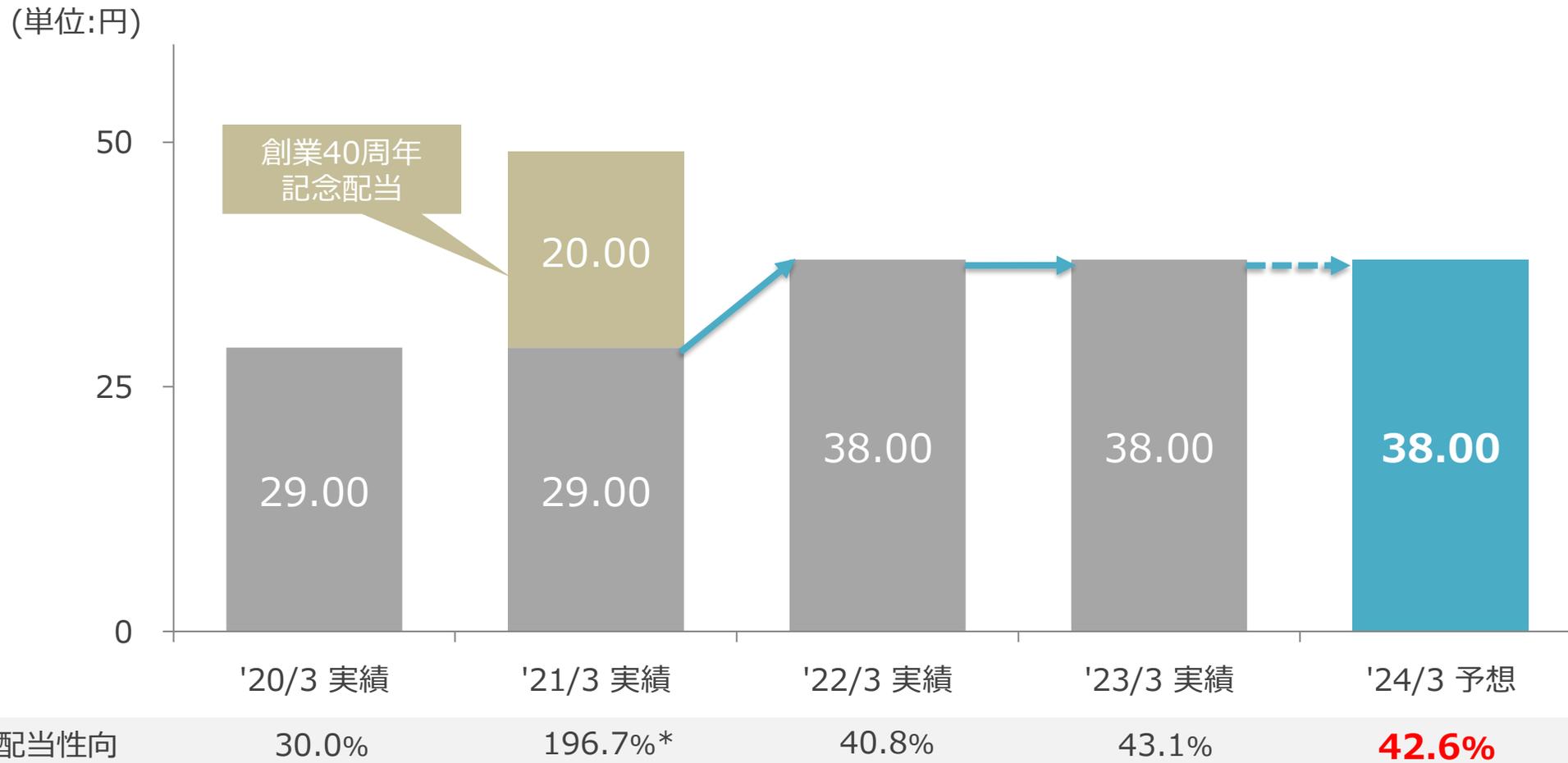
(単 位 : 百 万 円)	2020/3期	2021/3期*1	2022/3期	2023/3期*2	2024/3期 (予想)*3
設 備 投 資 額	2,536	1,382	1,633	976	3,128
減 価 償 却 費	1,264	1,525	1,611	1,566	1,603
研 究 開 発 費	1,743	1,667	2,159	2,316	2,238
期末従業員数 連結	1,074	1,167	1,205	1,166	1,229
(名) 単体	995	995	984	962	993

*1 2021/3期より、JLLマレーシア社を新規連結

*2 2023/3期末に、子会社の心宜医療器械（深圳）有限公司（JLL Shenzhen Co., Ltd.）を売却

*3 2024/3期より、減価償却方法を定額法に統一

✓ 2024/3期の配当は、前期と同額の1株当たり38円を予想



* 多額の特別損失の計上 (5,982M) があったため、異常値となっています

- ✓ 2023/5/10開催の取締役会にて、自己株式の取得及び消却に関する事項を決定
 - 取得する株式の種類 普通株式
 - 取得する株式の総数 300万株 (上限)
発行済株式(自己株式除く)の3.9%
 - 取得する株式の総額 40億円 (上限)
 - 取得する期間 2023/5/11から2024/2/29
 - 取得する方法 東京証券取引所における市場買付
(証券会社による取引一任方式)
 - 消却する株式の種類 普通株式
 - 消却する株式の総数 上記自己株式の取得後、発行済株式の
1.0%を超過した株式数
 - 消却予定日 2024/3/15

参考資料

4Q 1-3月 損益ハイライト	売上高		営業利益		四半期純利益	
	百万円	YoY (%)	百万円	YoY (%)	百万円	YoY (%)
	13,251	+792 (+6.4%)	2,906	+436 (+17.7%)	2,320	+358 (+18.3%)
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保険償還価格の下落、コロナリーインターベンション (CI) の大幅縮小の影響があるも、新型コロナウイルスの影響が軽減されたことに伴う症例数の増加により増収 ✓ 販売数量の増加が保険償還価格下落等のマイナス要因を大きく上回り営業増益 ✓ 当社子会社の譲渡および清算に伴い、子会社整理益 (特別利益) を計上したことにより四半期純利益は大幅増益 					

品目別売上高 ハイライト	リズムデバイス YoY +0.6%		EP/アブレーション YoY +12.3%	
	➡	(-) 保険償還価格の下落 (+) ICD関連の症例数増加	⬆	(+) AF症例数の増加 (+10%) (+) 他社製品の供給問題
	外科関連 YoY +13.5%		消化器/PI YoY ▲41.0%	
	⬆	(+) 人工血管関連が好調 (+) 塞栓用コイルの寄与	⬆	(-) Orsiro*の大幅減

* 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro(オシロ)」2022/6に独占販売契約を終了し、以降は在庫販売のみを行っています

(参考) 2023/3期 連結業績概況 (4Q 1-3月)

✓ 前年同期比で増収、営業増益。四半期純利益は大幅増益

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	1-3月実績	YoY	%	1-3月実績
売上高	13,251	+792	+6.4	12,459
売上総利益	7,754	+676	+9.6	7,078
構成比	58.5%			56.8%
販管費	4,848	+239	+5.2	4,608
構成比	36.6%			37.0%
営業利益	2,906	+436	+17.7	2,469
構成比	21.9%			19.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,320	+358	+18.3	1,961
構成比	17.5%			15.7%
自社製品比率	56.5%			54.0%

売上高 YoY +6.4% 増収

- (+) 新型コロナの影響軽減によるAF症例の増加 (+10%)
- (+) 新商品の寄与 (脳血管領域、胆膵領域)
- (-) 保険償還価格の下落、医師の働き方改革による症例数の制限

営業利益 YoY +17.7% 増益

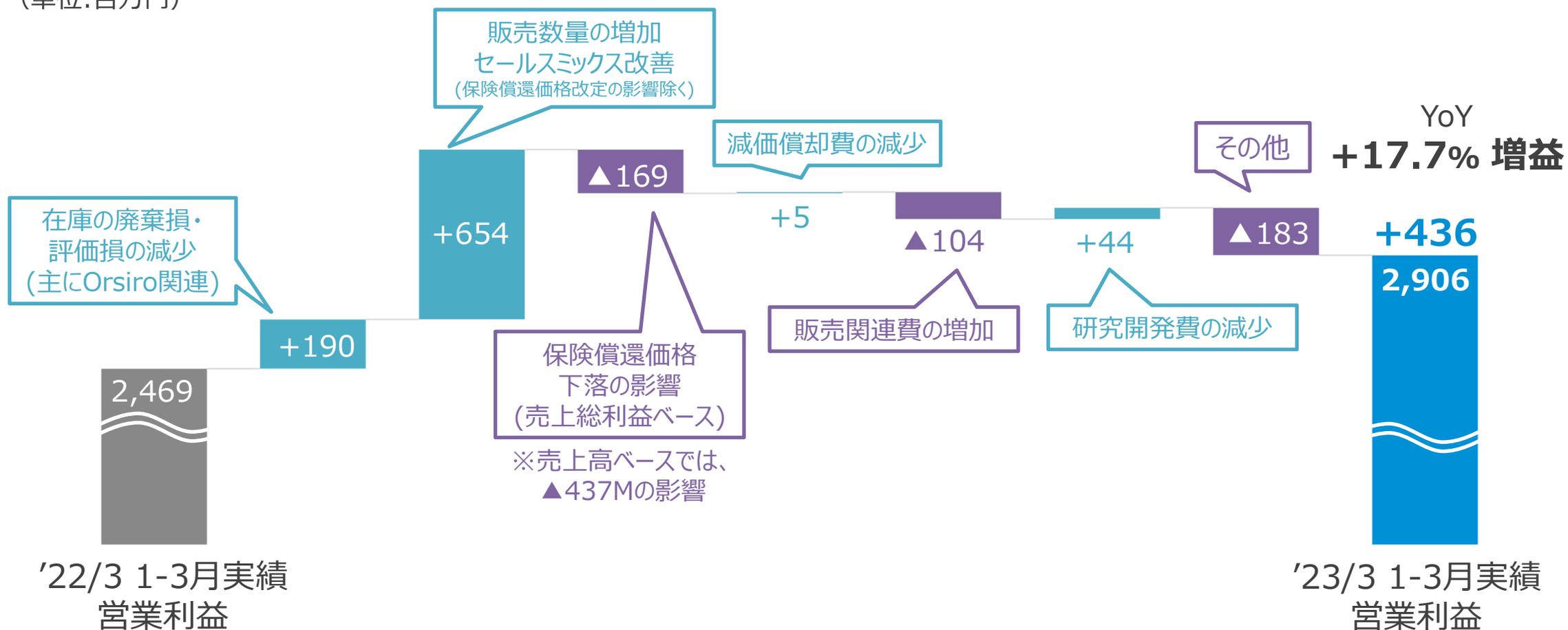
- (+) 自社製品比率の改善 (2.5pt)
- (+) 在庫の廃棄損・評価損の減少 (▲190M)
- (-) 保険償還価格の下落に伴う粗利率の悪化

四半期純利益 YoY +18.3% 増益

- (+) 子会社の譲渡および清算による子会社整理益を計上 (96M)

- ✓ 保険償還価格の下落、販管費の増加等のマイナス要因を、販売数量の増加や前年同期に計上した廃棄損・評価損等の影響(一時的なプラス要因)が大きく上回り**営業増益**

(単位:百万円)



(参考) 事業環境 現時点から6か月先の見通し

事業領域	品目	2023/3期 4Q 実績		2024/3期 1Q 予想		2024/3期 2Q 予想	
リズムデバイス	ペースメーカー関連		他社新製品影響、 価格競争		同左		同左
	ICD関連		交換症例の増加・ 獲得		同左		同左
EP/アブレーション	EPカテーテル	 前回: →	期末の販売集中、 コロナ影響減	 前回: →	期末要因剥落 (前年同期比は+)		同左
	ABLカテーテル	 前回: →	商品供給不安、 拡販遅れ	 前回: ↗	同左		同左
	その他	 前回: →	ステイラブルシース、RF Needleが好調		RF Needleの独占 販売終了(23/3末)		同左
心血管関連	人工血管関連	 前回: →	堅調推移。季節性 の増加		季節性の増加剥落 (前年同期並み)		季節性の増加剥落 (前年同期並み)
	脳血管関連		施設数の拡大		新商品の発売 (血栓吸引カテ)		新商品の導入効果
消化器	消化管関連		堅調推移		新モデルの導入		新モデル効果
	胆膵関連		一部製品のみ拡販	 前回: →	チーブステントの拡販		同左

* 矢印は前QからのQoQベースでの売上高に影響する事業環境のトレンド変化を表す（上向き、横ばい、下向きの3段階で評価）
 前回からの変更箇所は、前回のトレンド評価を併記。コメントは赤字

(参考) 売上集計区分の組替詳細

(単位：百万円)

旧品目区分	サブ区分	売上高 2023/3期 実績
リズムデバイス	ペースメーカー関連	4,938
	ICD関連	7,090
	その他	374
	小計	12,403
EP/アブレーション	EPカテーテル	19,654
	ABLカテーテル	1,011
	その他	5,626
	小計	26,292
外科関連	人工血管関連	10,353
	その他	289
	小計	10,643
消化器/PI	消化器関連	645
	PI関連	1,765
	小計	2,411
純売上高 合計		51,750

(単位：百万円)

新品目区分	サブ区分	売上高 2023/3期 実績
リズムデバイス	ペースメーカー関連	4,979
	ICD関連	7,049
	その他	374
	小計	12,403
EP/アブレーション	EPカテーテル	19,654
	ABLカテーテル	1,011
	その他	5,626
	小計	26,292
心血管関連 (名称変更)	人工血管関連	10,353
	脳血管関連 (新規追加)	230
	その他	423
	小計	11,006
消化器 (名称変更)	消化器関連	654
	その他 (名称変更)	1,394
	小計	2,048
純売上高 合計		51,750

左室ペーシングリードを
ICD関連からペースメーカー
関連に移動

新規に「脳血管関連」を
追加し、塞栓用コイル等の
品目を「その他」から移動

一部の役務
売上を移動

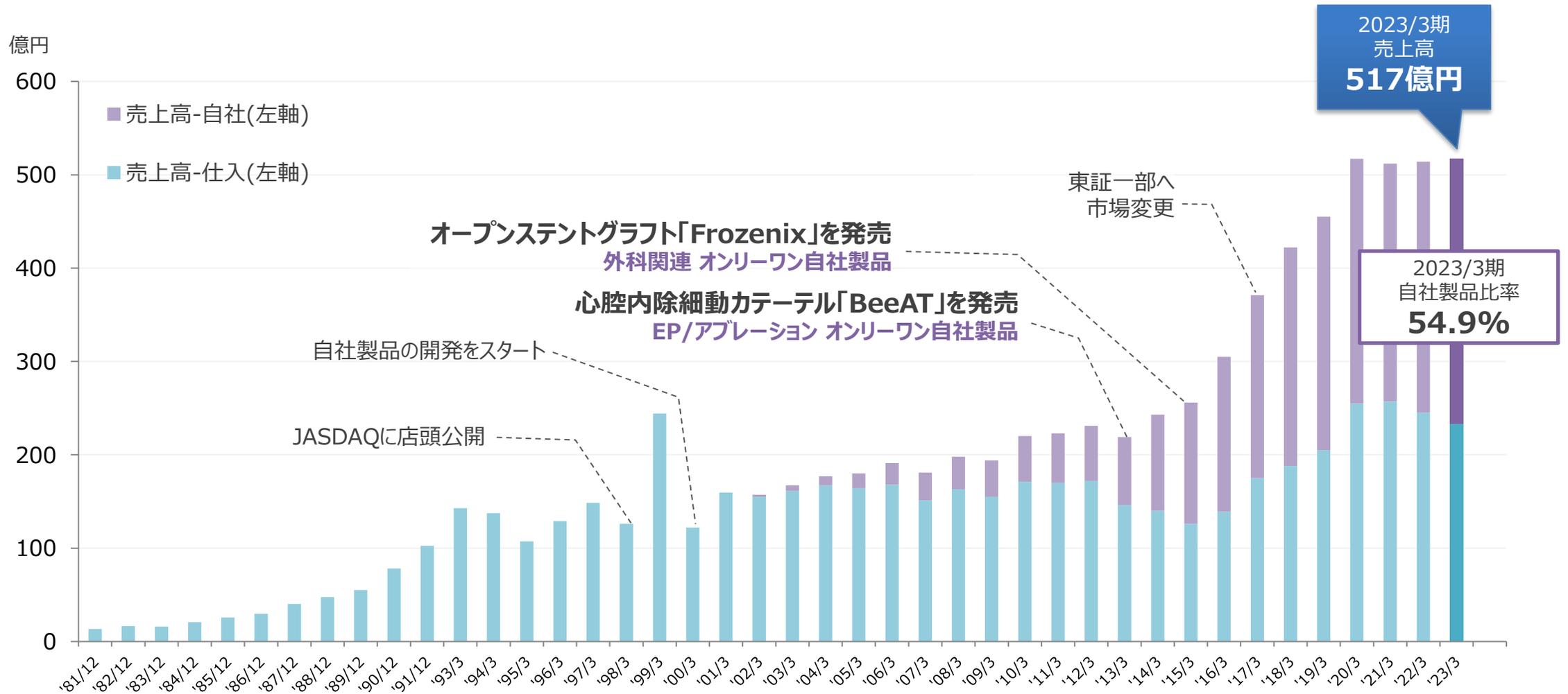
冠動脈インターベンションを中
心に事業縮小を見込むPI関
連を名称変更：
「PI関連」⇒「その他」
販売を継続する一部品目
(心房中隔欠損閉鎖器具、
FiguraFlexII等)は、心
血管関連の「その他」に移動

用語・略称		用語・略称		用語・略称	
アブレーション	不整脈の根治を目指す治療のひとつ カテーテルを用いて焼灼または冷凍凝固を行い、不整脈を抑える治療	AED	Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略称	保険償還価格	公的医療保険制度において医療機関が診療報酬として保険機関に請求できる代金のうち、医療材料として請求できる材料の請求価格
オープンステントグラフト	大動脈瘤や大動脈解離などの胸部大動脈疾患を治療する医療機器	AF	Atrial Fibrillation（心房細動）心房と呼ばれる心臓内の部屋が小刻みに震えてけいれんする心臓の病気	セールスマックス	各品目ごとの販売数量、売上金額の組み合わせ
肝癌治療用ラジオ波焼灼電気針	腫瘍の内部に細径の針（電極）を挿入し、ラジオ波により電極周囲に熱を発生させ病変を焼き切る治療法に使用する電気針	AFX2	Endologix社製腹部用ステントグラフトシステム	販売関連費	広告宣伝費、旅費交通費、交際費等
血栓吸引カテーテル	カテーテルを脚の付け根から脳血管内に入れて血栓を吸引し回収する医療機器	Alto	Endologix社製腹部用ステントグラフトシステム	Baylis社	Baylis Medical社
人工血管	血管移植の材料として用いられる人工の血管	BeeAT	自社製心腔内除細動カテーテル	医師の働き方改革	2024年4月から施行される、医師の労働環境改善と健康確保を目的として、長時間労働の制限を行う取り組み
スティラブルシース	不整脈を治療するためのアブレーションカテーテルを、適切な部位まで誘導及びサポートするために使用される可変型のシース	CRT-D	Cardiac Resynchronization Therapy Defibrillator（除細動機能付き両心室ペースメーカ）の略称	自社製品比率	売上高に占める自社製品の比率
舌下神経電気刺激装置	持続陽圧呼吸療法（CPAP）が不適又は不忍受な、中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者を対象に呼吸と同期して舌下神経を刺激し、舌基底部の筋収縮を誘発することで、気道の開存性を改善する植込み型医療機器	HeartLight X3	CardioFocus社製内視鏡レーザーアブレーションカテーテル		
塞栓用コイル	脳動脈瘤の血管内治療に用いられる細い針金状の医療機器	Optowire	ゼオンメディカル社製血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤ		
胆管用チューブステント	内視鏡処置具のひとつで、胆管狭窄部に対し管腔の維持を目的に経内視鏡的に胆管内に留置して使用するステントシステム	Orsiro	Biotronik社製薬剤溶出型冠動脈ステント		
脳梗塞	脳の血管が突然詰まり血流が途絶え、脳の神経細胞が死んでしまう病気	RF Needle	Baylis Medical社製心房中隔穿刺針		
腹部用ステントグラフト	動脈瘤などの治療に使用される、ステントという金属性の網状の筒に人工布を縫い付けた人工血管	S-ICD	Subcutaneous Implantable Cardioverter Defibrillator（完全皮下植込み型除細動器）の略称		
ペースメーカ	心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して埋め込む医療機器	SUREFLEX	Baylis Medical社製スティラブルシース		
マイクロカテーテル	脳血管治療において細い管を脳内の血管に挿入して、血管の内側から病変を治療する際に使用するカテーテル	T-ICD	Transvenous Implantable Cardioverter Defibrillator（経静脈的植込み型除細動器）の略称		

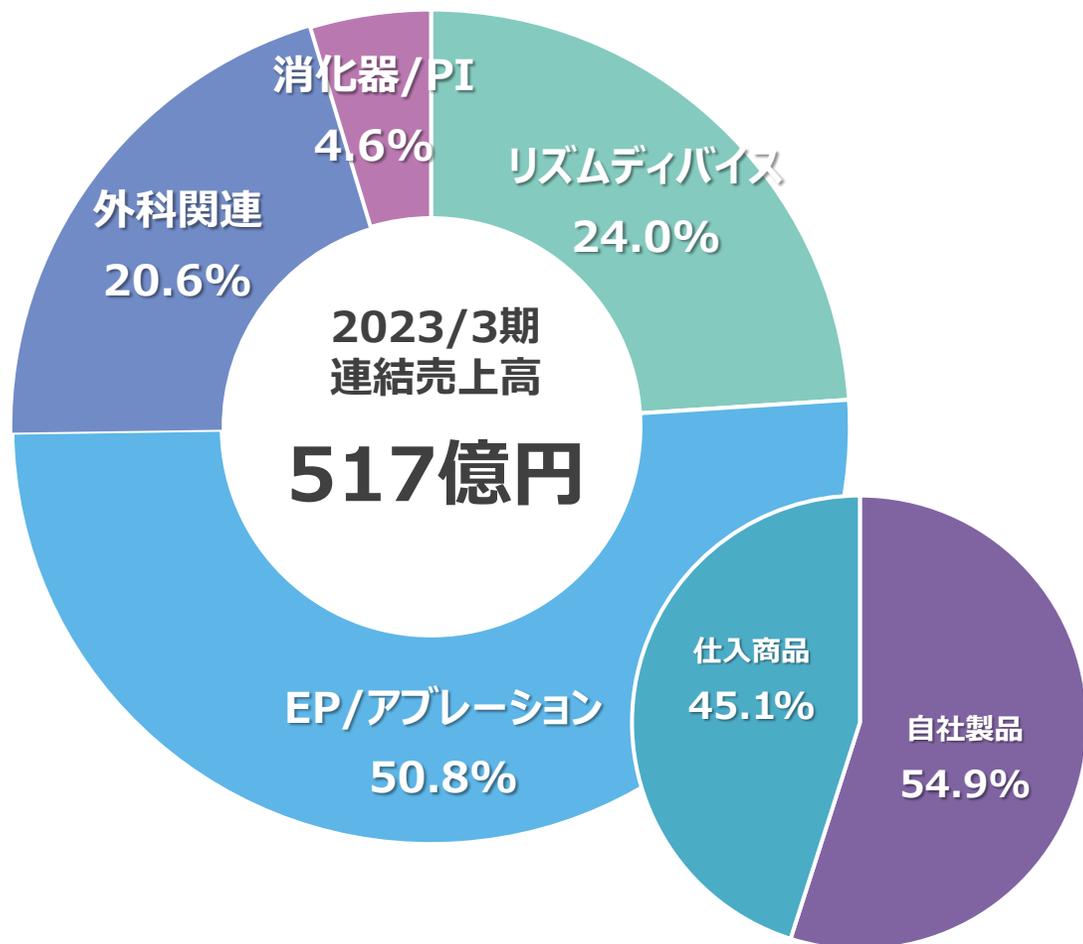
Appendix 会社概要等

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設立	1981年2月6日
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	7575
事業内容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資本金	2,115百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結1,166名/単体962名（2023年3月31日 現在）
事業所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2023年3月31日 現在）
連結子会社	JLL MALAYSIA SDN. BHD.

✓ 業界で類を見ないメーカー/商社のビジネスモデルと、オンリーワンの自社製品を軸に成長

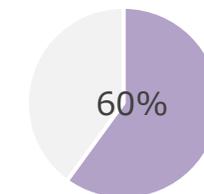
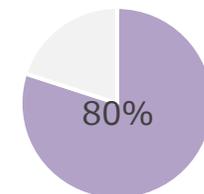
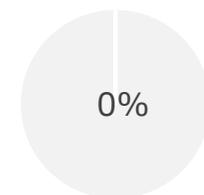


- ✓ メインの疾患領域は**心臓血管領域**であり、4つの品目区分に分類される
- ✓ 新領域として、**消化器**と**脳血管**にも注力し、疾患領域を拡大へ



リズムデバイス	<ul style="list-style-type: none"> 不整脈を治療する体内植込み型の医療機器 (BSJ社*1との長期独占販売契約)
EP/アブレーション	<ul style="list-style-type: none"> 不整脈の検査や治療を行う使い捨てのカテーテルなどの医療機器
外科関連	<ul style="list-style-type: none"> 大動脈瘤などを治療するための人工血管やステントグラフトなどの医療機器 脳動脈瘤や脳卒中を治療するための医療機器
消化器/PI	<ul style="list-style-type: none"> 消化器疾患を治療する医療機器

自社製品比率



*1 Boston Scientific Japan社 (Boston Scientific Corporation (米)の日本子会社)

✓ 不整脈(心臓の拍動が遅くなる、または早くなる疾患)を治療する体内植込み型の医療機器

ペースメーカー関連

心臓ペースメーカー

商品名 : Accolade (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

保険償還価格*1

シングルチャンバ 454,000円

デュアルチャンバ 593,000円

CRT-P (両心室心臓ペースメーカー)

商品名 : Visionist X4 (Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与える、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

保険償還価格

1,290,000円

I C D 関連

T-ICD (経静脈植込型除細動器)

商品名 : Resonate (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与え、拍動を正常な状態に戻します。

保険償還価格

シングルチャンバ 2,730,000円

デュアルチャンバ 2,820,000円

S-ICD (完全皮下植込型除細動器)

商品名 : Emblem MRI (Boston Scientific社製)



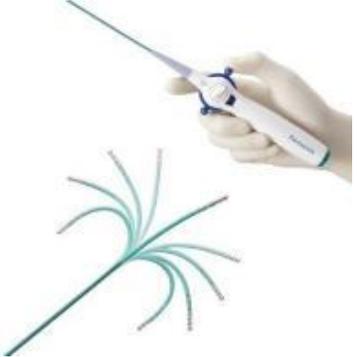
T-ICDは静脈を介し心臓内にリードを留置しますが、S-ICDは全ての機器を皮下に植込み血管内や心臓へ異物留置がありません。

保険償還価格

3,120,000円

*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 不整脈の検査や治療を行う、ディスプレイの電極付カテーテルなどの医療機器

E P カテーテル関連		A B L カテーテル関連		その他
<p>EP（電気生理用）カテーテル 製品名：EP Star, Libero, Snake, Esophastar（自社製品）</p>  <p>不整脈の診断や治療方法の適応を判断する検査に用います。カテーテル先端の電極で、心臓内電位を測定したり、不整脈を誘発させて原因を特定します。</p> <p>保険償還価格*1 標準型（電極数3~5） 46,800円 温度センサ付（エソファスター）85,400円</p>	<p>心腔内除細動カテーテル 製品名：BeeAT（自社製品）</p>  <p>アブレーション治療時に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことで、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせて持っています。</p> <p>保険償還価格 214,000円</p>	<p>アブレーションカテーテル 製品名：Ablaze（自社製品）</p>  <p>頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。</p> <p>保険償還価格 通常型 117,000円</p>	<p>内視鏡レーザーアブレーションカテーテル 商品名：HeartLight X3（Cardio Focus社製）</p>  <p>バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡で、正確な留置・焼灼が可能です。</p> <p>保険償還価格 505,000円</p>	<p>ステーラブルガイドングシース 商品名：Guidee Leftee（自社製品）</p>  <p>診断又は治療のためのカテーテルを経皮的に心臓に挿入するために使用されます。先端部は、ハンドルの回転ノブを操作することで、屈曲させることができます。</p> <p>保険償還価格 118,000円</p>

*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

- ✓ 大動脈：本来の機能が失われた血管を人工の器官に置き換え、治療するための医療機器
- ✓ 脳血管：脳梗塞や脳動脈瘤を治療するための医療機器

人工血管関連			脳血管関連
<p>人工血管 製品名：J Graft（自社製品）</p>  <p>開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。</p> <p>保険償還価格*1 分岐なし（ストレート） 117,000円 1分岐（T字） 179,000円 2分岐以上（4分岐） 245,000円</p>	<p>(腹部用)ステントグラフト 商品名：AFX2, Alto（Endologix社製）</p>  <p>外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。</p> <p>保険償還価格 標準型（AFX） 1,320,000円 ポリマー充填型（Alto） 1,430,000円</p>	<p>オープンステントグラフト 製品名：Frozenix（自社製品）</p>  <p>大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。</p> <p>保険償還価格 1,110,000円</p>	<p>塞栓用コイル 商品名：Avenir（Wallaby Medical社製）</p>  <p>脳動脈瘤内に塞栓用コイルを留置することで血液の流入を遮断し、瘤の破裂（くも膜下出血）を防ぎます。</p> <p>保険償還価格 82,900円</p>

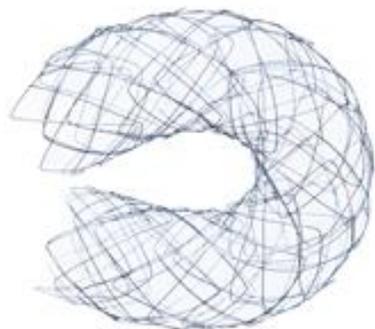
*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 消化器：肝臓や大腸などの消化器疾患を治療する医療機器

消化器

大腸用ステント

製品名：JENTLLY NEO Colonic Stent（自社製品）



癌により閉塞した大腸を押し広げるために用います。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステントを展開します。

保険償還価格*1

216,000円

胃・十二指腸用ステント

製品名：JENTLLY NEO Duodenal Stent（自社製品）



癌により閉塞した胃や十二指腸を押し広げるために用います。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステントを展開します。

保険償還価格*1

216,000円

肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針

製品名：arfa（自社製品）



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝癌の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

保険償還価格

なし。保険区分A2(特定包括)で特定の診療報酬項目において包括的に評価される。

胆管チューブステント

製品名：REGULUS（自社製品）



胆管が胆石や腫瘍などの圧迫によって狭くなった箇所にステントを留置し広げることで、胆汁の流れを改善して治療します。

保険償還価格

45,600円

*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 国内4拠点、海外1拠点の体制でメーカー機能を支える

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



2018/4~

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



2012/1~

量産・滅菌工場

小山ファクトリー (栃木県小山市)



2014/10~

血管製品の開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



2011/1~

海外工場

マレーシア工場 (マレーシアペナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



2020/6~

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>